



わたしのワンピース

にしまき かやこ え・ぶん

こぐま社 1969年 1155円

1冊 20×22cm

空から落ちてきたまっしろなきれでワンピースを作ったうさぎさん。ワンピースを着てお花畑を散歩すると、ワンピースが花模様になっちゃった。すると雨が降ってきて、今度はなんと水玉模様になっちゃった。

つぎつぎと変化する模様と言葉の繰り返しに「次はなにかな？」と想像して楽しむ事ができる本です。虹や夕焼け雲を身にまとうって、どんなに気持ちのよいものかしら、と子どもの五感をくすぐります。

子どもが大人の服や靴を身につけたり、新しい服を着て意気揚々と行進する姿を見かけます。この本が子どもの心をとらえて離さないのは、きっと、そんな満足感を思い出させてくれるからなのでしょう。



わにさんどきっ はいしゃさんどきっ

五味 太郎 作・絵

偕成社 1984年 1050円

32ページ 23×23cm

わにさんが虫歯の治療に行くと、こわそうな道具を持ったはいしゃさんが現れました。はいしゃさんが虫歯の治療に出向くと、こわそうなきばを持ったわにさんがたっています。ふたりともどきどき、こわごわ。

歯医者さんと患者のわにさん、立場の違うふたりが、おなじ言葉を使いながらお話しはすすみ、その違いを絵で表現しています。また、おなじ言葉の繰り返ししが、心地よいリズムを作り出しています。声に出して楽しく読みたい1冊です。